

令和4年度 栗木台小学校学校評価報告書

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力いただき、ありがとうございます。学校評価アンケートには多くの保護者の皆様にご協力いただき、心より感謝申し上げます。この度結果がまとまりましたのでご報告いたします。この結果を今後の教育活動に生かしていきたいと思ひます。

《グラフの見方》 A:とても B:大体 C:あまり D:全く E:わからない

○児童の学校生活	<p>◎「①児童の学校生活の様子」については、児童には「学校は楽しいですか」、保護者、教職員には「子どもたち(お子さんは)は学校生活を楽しんでいると思ひますか。」という質問項を設定しました。</p>	<p>成果と課題</p> <p>教職員・保護者・児童とも昨年とほぼ同じ結果となりました。90%以上の児童が学校生活を「楽しい」と思っていることはうれしいことです。しかしCDの割合も8%と昨年度と変わっておらず課題としてとらえています。このことを真摯に受け止め、不安に思っている児童に耳を傾けていきたいと思ひます。来年度は感染症対策の対策が緩和されていくことが予想されます。子どもたちの学校生活がより豊かなものとなるように、引き続き、多くの教職員の目で子どもを見つめ、一人ひとりの心に寄り添いながらどの子どもも笑顔で過ごせる学校生活をめざし、日々の教育活動に取り組んでいきます。</p>
①基礎学力の定着と活用・授業力向上	<p>【具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「わかる」「できる」「楽しい」を実感できるように「学習の見直し」と「振り返り活動」を大事にした授業展開を工夫する。 ○学年や教科領域に応じた学び方を身につけさせ、互いの考えを伝え合い練り上げるための指導。 ○個別最適な学びの充実に向けて、GIGA端末の有効活用の仕方を検討していく。 	<p>成果と課題</p> <p>児童・保護者共にABの割合が約90%となりました。特に児童はAの割合が多く、学習意欲・自己肯定感の高さがうかがわれます。今年度の重点目標に向けての取組で基礎学力の定着を図るとともに、教員同士が授業を見合う機会を増やし、多様な学習方法の工夫と効果的な指導の改善・充実に努めてきました。GIGA端末については、子どもたちは操作にも慣れ、学習の中で学年に応じた様々な活用の仕方をしています。授業参観や学校評価の記述の感想でも指導形態の工夫やICT機器を活用した授業の様子に感心する声を多くいただいています。児童の90%が「わかった」「できた」と感じている一方で、CDの児童が10%います。児童の困り感に寄り添いながら「わかった」「できた」ことが実感できるよう児童の一つ一つの取組への達成感を大切に、今後も教材研究に努めていきます。</p>
②国語の校内研究	<p>【具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「あたたかな聴き方・やさしい話し方」を大切に、どの児童も自分の考えをもち、生き生きと話せるように国語科の校内研究を進めていく。 ○家庭学習で行う音読については、6年間を見通しためてになるよう縦のつながりを意識していく。 ○読書については継続、積み重ねを大切に、読む楽しさが感じられるようにしていく。 	<p>成果と課題</p> <p>友達から共感などの相づちや反応をもらい自信をもち始めた子どもたち。表現する喜びを感じています。また、友達の発言から考えをあげ更に考えを共有しようとする姿も見られるようになってきました。「『よい聞き手』『よい話し手』を育て、『よい話し手』が学習の深まりを生む」と言われています。誰もが自分の考えを表現したくなるために、更によい聞き手を育てていく必要があります。来年度も学習のスタンダードとして継続していきます。読書については、朝読書の定着を図りました。図書ボランティアさんの読み聞かせも各学年6回ずつ程度計画され、読書の時間を楽しむ様子が見られました。読書時間も多少ではありますが、昨年度より増える結果となりました。図書室の本を充実させ読書が好きな児童が更に増えるよう取り組んでいきます。</p> <p>今後はどの学年もどのクラスも同じような学習のスタンダードで学習が進められるよう、紙ベースによる「あたたかな聴き方・やさしい話し方」を作り、掲示をしていきたいと思ひます。階段掲示だけでなく、図工の作品のように児童の作品を廊下などに掲示していくことにより、言葉の表現の幅を広げていくよい刺激となるようにしていきたいと思ひます。</p>
③一人ひとりに応じた学習支援	<p>【具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子どもの実態に応じた「学級内支援」に取り組み、保護者と共通理解を図りながら教育的ニーズに合った支援を行っていく。 ○複数の職員で学習支援にあたり、個別指導したりするなど、より適切な指導法を検討し実践する。 	<p>成果と課題</p> <p>「学習中にわからないことがあるときには、友達や先生、ボランティアさんなどに聞いて解決することができた」と言う問いに対してA「とてもそう思う」が48%、B「だいたいそう思う」が36%と全体の80%を超える回答となりました。児童の困り感を担任が授業の中でしっかり見取り、課題解決に向けた支援ができていますと考えられます。また、算数の入り込みや個別学習は、一人一人のニーズに応じた支援ができていますと考えられます。</p> <p>今後も、引き続き児童一人一人の学習内容の定着を図れるようにニーズに応じた支援ができるように心がけていきたいと思ひます。また、分からないと行きには助けを求め、分からないと伝えられる雰囲気作りをしていきたいと思ひます。</p>
①一人ひとりを大切にしたい学校	<p>【具体的な取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○どの子どもも安心して過ごすことができる学校、学級をめざし、支援教育コーディネーターを中心に多くの目で子どもたちを指導し、教育的ニーズを踏まえた適切な支援をしていく。 	<p>成果と課題</p> <p>「栗つこの約束」を守り友達のことを大切に助け合って生活することができる」の問いに対して児童はA57%、B38%あわせて95%の回答になっています。担任・コーディネーター・養護教諭・巡回カウンセラーと協力できていることで児童が安心して生活できる体制が整っていると思ひます。また教室以外での居場所づくりにも努めてきました。</p> <p>本校の道徳教育の全体計画を作成し、全教育活動において思いやりの心を育む道徳教育をめざしてきました。各教科と道徳教育との関連を図りながら、計画的、発展的な指導をしていきたいと思ひます。</p> <p>今後も職員・外部関係者との連携を取りながら児童が安心して過ごす環境作りを努めていきたいと思ひます。</p>

<p>② 自主的な活動の充実</p> <p>【支え合う学校】</p>	<p>【具体的な取り組み】</p> <p>○よりよい学校にするために、月目標や挨拶運動など代表委員会を中心に話し合い、子どもの主体的な活動を推進する。</p> <p>○40周年記念式典に向けて、委員会ごとに学校を盛り上げる企画を行うなど、自主的な活動をさらに充実させていく。</p>	<p>成果と課題</p> <p>60%以上の児童が、40周年記念式典などの行事に積極的に取り組んだかどうかの質問にA「とてもそう思う」と回答しています。学校行事を通して、子どもたちは自分たちで活動を作り上げた、という充実感や達成感をもつことができました。さらに、自主的な活動の場が主体的に行動する力の育成に結びつくよう、意図して計画していきたいと思ひます。自主的な活動を充実させ、それらの活動を通して、見通しをもって行動する力や、物事を計画的に進める力を育てていきます。</p> <p>来年度は自主的な活動を充実させ、それらの活動を通して、見通しをもって行動する力や、物事を計画的に進める力を育てていきたいと思ひます。また、今年度は40周年記念式典を行ったことで地域の良さに目が向きました。今後の活動につなげていきたいです。</p>
<p>① 交通安全・防災、防犯対策の充実</p> <p>【安心・安全な学校】</p>	<p>【具体的な取り組み】</p> <p>○防災意識を高め、どのような非常災害においても、児童が自分の身を守る行動がとれるようにするために、地震や火災などの非常災害を想定した訓練を実施する。</p> <p>○避難訓練や保護者への引き渡し訓練、シェイクアウト訓練のいずれかを毎月実施する。</p> <p>○交通事故を未然に防ぐために、交通ルールを知り、安全に自転車運転するための交通安全教室を1年生と4年生で実施する。</p> <p>○不審者が侵入した際の身の安全を確保するための適切な行動について学ぶ、防犯研修を実施する。</p>	<p>成果と課題</p> <p>保護者97%、児童96%と、肯定的な回答でした。PTAのご協力のもと、多くの保護者が来校する運動会や土曜参観の際、警備員の方に立っていただいたこともこの評価に大きく関わっていると考えられます。シェイクアウト訓練を初めて受けた1年生も訓練を繰り返すうちに、机の下に隠れたり、防災頭巾を素早く被ったりする動きが上手になっていきました。そのような児童の様子からも、日常の訓練が自分たちを守る行動に生かされていると考えられます。避難訓練では、より安全に混乱なく児童を誘導する方法や経路について、反省を生かしながら、見直しを行っていきます。</p> <p>今年度は、麻生警察署の協力のもと、教職員向けに防犯研修を実施しました。不審者が侵入した際の職員の動きや児童の身の安全を確保するための適切な行動について学びました。この防犯研修を生かして、次年度は児童向けの防犯訓練を実施し、不審者が侵入した際の適切な行動について指導していきます。</p> <p>登下校時の児童の様子については、スクールガードリーダー・保護者・地域と連携を図りながら、安全な歩行についても継続して指導していきます。さらに、長期休業明けには、教員が通学路に立ち、児童が通学路を正しく歩き安全に登下校しているかどうかを観察し、指導に生かしていく、登下校指導を計画しています。</p>
<p>② 校舎内外の整備・教育環境の整備</p> <p>【安心・安全な学校】</p>	<p>【具体的な取り組み】</p> <p>○安全で快適な学校施設であるために、毎月教職員で安全点検を行い、気づいたことは教職員だけでなく、専門家の目でも危険がないかを確認し、必要に応じて修繕を行う。</p> <p>○遊具が撤去されたが、長期にわたって学習でも使用できる遊具を新設できるよう働きかけていく。</p>	<p>成果と課題</p> <p>今年度は外壁塗装工事のため、長い期間ご不便をおかけしましたが、保護者児童共に96%と、多くの方が肯定的にとらえているようです。外壁がきれいになったことで校舎内もきれいに使いたいという意識が芽生えたと感じます。放置することで危険がないよう気が付いたところから修繕したり、専門家に確認していただいたりしました。新設の遊具(雲梯)も予定されています。夜間わくわくプラザの帰りに校舎わきを通る際、電灯が暗く足元に不安があるとの声をいただきました。早急に対処できるよう教育委員会と連携をとって進めてまいります。</p>
<p>③ 教育計画の取組と成果の情報公開</p> <p>【安心・安全な学校】</p>	<p>【具体的な取り組み】</p> <p>○今年度も、ホームページを通して、学校だよりや学年だよりなど学校からの情報や子どもたちの様子を家庭や地域に配信し、学校での様子を知って安心してもらえるよう、各学年の取組を、写真や文章で伝えていく。</p>	<p>成果と課題</p> <p>学校ホームページをほぼ毎日更新し、子どもたちの様子を積極的に伝えてきました。保護者も99パーセントの方が肯定的にとらえ、特にAの割合が昨年度より10%近く伸びています。保護者の方がホームページを閲覧する機会も増え、学校評価アンケートでも「ホームページで学校生活の様子がよくわかった」「子どもたちの元気な様子に安心した」などのお声も多くなりました。特に自然教室や修学旅行の時に、子どもの様子をリアルタイムで伝えてく取り組みについて保護者の方から好評をいただいたので、今後も続けていきたいと思ひます。今後も、ホームページを通して、子どもたちの様子を積極的に伝えていきたいと思ひます。</p>